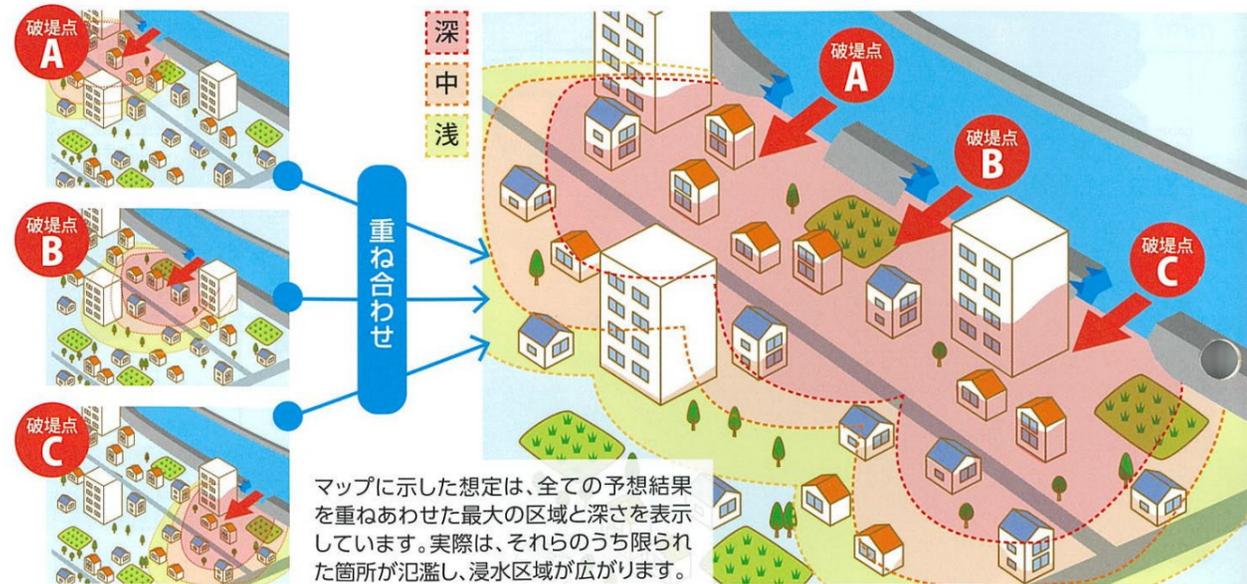
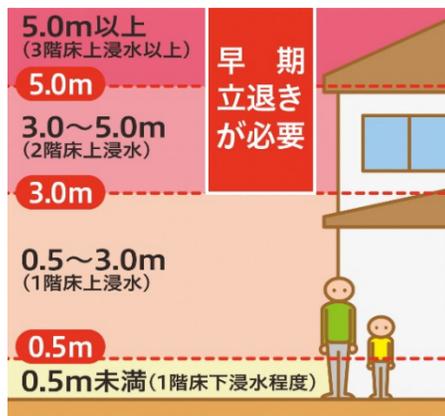


## 洪水浸水想定区域の考え方

全ての破堤点（堤防が決壊すると想定された箇所）について、どう氾濫し、浸水するか、それぞれの箇所で氾濫解析シミュレーションを行い、予想しています。



## 浸水深の目安



## 家屋倒壊等氾濫想定区域

早期立退きが必要

家屋の倒壊・流出をもたらすような激しい流れが発生するおそれのある河川沿いの地域で、以下の区域が設定されています。



氾濫した洪水の流れが速く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域



洪水の際に河岸が削り取られて、家屋が倒壊するおそれのある区域

## 状況に応じた避難行動

洪水が予想される場合は、早めに浸水想定区域の外側の避難場所等へ避難すること（水平避難）が基本です（避難場所への避難がかえって危険な場合は、近隣のより安全な場所へ避難してください）。既に避難経路が浸水しているなど、外出することが危険な場合は、今いる建物の上階に移動する（垂直避難）など、より安全な場所に避難しましょう。



※ただし、自宅など今いる建物が上記のような

- ・家屋倒壊等氾濫想定区域内にある場合
- ・浸水深が建物最上階の床の高さを上回る場合

には、建物内での垂直避難は行わず、建物からの**早期の立退きが必要**です。

問合せ先  
総務課（内線214）

# 大雨や台風による災害に備えましょう

梅雨の季節や梅雨明けは、雷、台風、ゲリラ豪雨などが発生しやすくなります。これらの自然災害発生時に円滑な避難を確保し、被害を最小限に抑えるためには、次のことに注意し、事前の準備をすることが大切です。

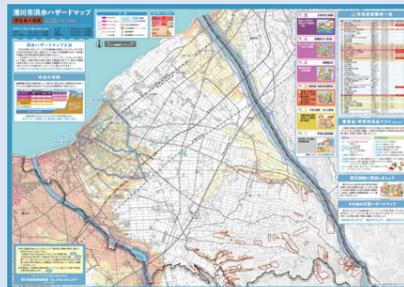
- ・気象情報に注意し、情報収集に努めましょう。
- ・停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオの確認をしましょう。
- ・非常持出品の確認と準備をしましょう。
- ・浸水や暴風に備え、自宅周辺を確認し、家財道具などを安全な場所に移動しましょう。
- ・ハザードマップで洪水時に自宅や職場がどれくらい浸水するか確認しておきましょう。
- ・避難場所（避難所）を把握し、災害発生時にどこへ避難すればよいか確認しておきましょう。



※事前準備は、家族構成などによって異なります。万が一の際に何が 필요한のか、災害が起こる前に話し合っておきましょう。各種ハザードマップや避難場所などは市ホームページでも確認できます。

## 洪水ハザードマップを見直しました！

平成27年の水防法改正により、想定最大規模降雨（想定しうる最大規模の降雨）が加わり、新たな洪水浸水想定区域図が公表され、このデータに基づき、「滑川市洪水ハザードマップ」を改訂しました。市民の皆さんに浸水情報と避難に関する情報などを分かりやすく提供し、洪水時の人的被害を防ぐことを第一の目的に作成したマップです。



※滑川市洪水ハザードマップは、市ホームページでも確認できます。

本誌と同時に全戸配布しましたので、事前の備えのためご活用ください。

想定最大規模による浸水想定区域の拡大に伴い、これまで指定避難所に指定していた44施設のうち、**次の6施設は洪水時には避難できなくなりましたので、ご注意ください。**

- ・市民会館大ホール
- ・フットボールセンター富山
- ・みのわ健康休養施設（みのわ温泉）
- ・認定こども園たかつき保育園
- ・西地区コミュニティホール（滑川西地区公民館）
- ・童和保育園

## 主な河川ごとの想定降雨量

河川名	改訂前		改訂後	
	計画規模 (1年の間に発生する確率：2%程度)	想定最大規模 (1年の間に発生する確率：0.1%程度)	計画規模 (1年の間に発生する確率：2%程度)	想定最大規模 (1年の間に発生する確率：0.1%程度)
上市川	273.0mm / 24時間	758.0mm / 24時間	273.8mm / 24時間	758.0mm / 24時間
早月川	220.0~450.0mm / 24時間	724.2mm / 24時間	367.5mm / 24時間	724.2mm / 24時間
中川・沖田川	69.0mm / 1時間	813.0mm / 24時間	187.0mm / 24時間	813.0mm / 24時間

## その他

- ・想定最大規模と計画規模の降雨による浸水想定区域が比較できるよう表・裏にそれぞれ掲載しました。
- ・洪水時危険箇所として、浸水想定区域内のアンダーパスと地下道を掲載しました。
- ・これまでの被害状況や、それに対応した整備状況などを掲載しました。